

# 東朽網

## 学校教育目標

徳・知・体の調和のとれた  
人間性豊かな実践力のあ  
る子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

自分が好き・友達が好き・先生が好き・学校が好き

- やさしく、仲良く助け合う【いじめ〇】(徳)  
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子ども
- かしこく(知)  
進んで学び、よく聞き、深く考え、表現できる子ども
- たくましく(体)  
体づくりにも励み、健康でたくましい子ども

第14号 令和元年12月6日発行(文責)校長 井津 京香

### だれもがみんな 幸せになれるように・・・人権週間 12月4日(水)～10日(火)

#### なかよし平和集会 → たてわり活動 12月5日(木)

5, 6年生のなかよし委員会の子も達が『モモマルくんと森の仲間たち』の絵本の読み聞かせをしてくれました。差別を取り巻く7つの立場(差別をする人・あおる人・同調する人・傍観者の立場で接する人・無関心な人・差別される人・差別をなくすために努力する人)について、大型紙芝居を使って分かりやすく教えてくれました。

6年生は、総合的な学習や修学旅行で学んだ「戦争の恐ろしさ原爆の悲惨さ・平和の大切さ」について、実感したことをもとに、切実な思いをもって伝えてくれました。そして、これから東朽網小学校のみんなが今考えなければいけないこと、みんなで取り組めることについて、全校のみんなに届けようと39人の心を合わせて伝えてくれました。



#### 6年生からのメッセージ

今、私たちにできることは、自分の命だけでなく、みんなの命を大切にすること。みんなの笑顔を守っていくこと。相手のことを思いやり、小さな争いをやめること。心を傷つける暴言や暴力をやめること。そして、弱い立場の人や少数派の人、だれもが自分らしく生きることのできる世の中をめざして、私達だけでも何か動かせせるものがあるはず。まずは、東朽網小学校全員が笑顔で毎日を過ごせるように、仲良くしていこう!

東朽網小学校のみなさん、  
今日から一緒に小さな平和から  
作っていきましょう!

#### 3年生 ミュージアムツアー「北九州市立美術館見学」 11月27日(水)

子どもたちの好奇心を刺激し、様々な感性と創造力を育むきっかけづくりとして、市内の全ての3年生が参加しています。この学習では、美術作品(絵画・彫刻・素描・写真など)の鑑賞をはじめとし、建築の見学、美術館から見える市内の眺望という3つの体験を通して、美術館のすばらしさを知ること、子ども達のシビックプライドの醸成を図っていくことを目的としています。どの子どもとも静かに美術館でのマナーを守りながら、興味深く作品を鑑賞することができました。



- ・「八幡ワークス」が一番心に残りました。この作品は、ステンレスやアルミでできている部品を集めて組み合わせて作っていました。未来のビルみたいに見えました。
- ・モーターが付いた作品がありました。馬やうさぎ、掃除機の形に似ていました。潜水艦にも見えました。すごく大きくて今にも動き出しそうでした。これに乗って、深海に潜りたくなりました。
- ・美術館の作品はすべて世界に一つだけしかない物だそうです。これらの作品は見る人の宝物だと教えていただきました。

#### 3年生 国際交流学習「韓国の文化や生活を学ぼう」11月29日(金)

総合的な学習の時間に国際理解教育の一環として、韓国の伝統文化や生活の様子、韓国語での挨拶や遊びなどいろいろなことを教えていただきました。そして、文化や生活習慣の違いがあることは豊かであることやその違いを知り認め合うことで、偏見や差別がなくなり、一人一人が大切にされる平和な世の中を築くことができることを学びました。これからのグローバル化社会の中で、自分とは異なる文化や生活習慣について学び、理解し、共に協力しながら、よりよい未来を築くことができる人に育ってほしいと思います。



- ・韓国の文化について知ることができました。特に、チマチョゴリは、とてもおしゃれでかわいいと思いました。
- ・一番楽しかったのは、こま回しです。ペさんが、日本とは違うこま回しを教えてくださいました。ペさんが優しく説明してくれたので、初めてだったけど上手に回すことができました。
- ・みんなでじゃんけん大会をしたりこま回しをしたりしました。最後に、戦争のことを聞いて、あらためて戦争の怖ろしさを知りました。これからも、友達を大切にしたいと思いました。
- ・「三年とうげ」のお話を韓国語と日本語で読んでくれたり、身振り手振りで劇をしてくれたりしました。最後に、ペさんのお姉さんのお話で、「争いがあるって、国が二つに分かれてしまったこと」を知りました。とても悲しいことだと思いました。ペさんが教えてくれた「オッケー、トム、なかよしさん」の言葉を忘れないようにしたいと思いました。

裏面も読まれてください。

## 5年生 総合「東朽網の自然環境とわたしたち」 11月22日(金)27日(水)

5年生は、これまで朽網川や干潟の自然環境や生息する植物や生き物、遙か南の国から飛んでくる渡り鳥、そして、繁殖のために北の国へ飛んでいく渡り鳥の中継地としての干潟の魅力について学んできました。そして、さらに詳しく専門家の方や自然環境を守るためにご尽力されている方々から学びました。今後は、自分たちにできることは何かを考え、東朽網の自然環境を守り続けていくことなどについて発信していくことを目的に学習をしていきます。

曽根干潟には、カブトガニなど絶滅危惧種の生き物がたくさんいるそうです。それらの生き物を未来に残すために、調査活動や保護活動をしているそうです。東朽網校区の方々がいつも協力してくれているそうです。

カブトガニの生態と環境



校区の方々と一緒に干潟のごみ拾いや水晶山清掃活動にも参加しているそうです。すべての生命を守る森づくりのために、どんぐりの実を植えて育て、森を作る活動をしているそうです。

社会(地域)貢献活動



TOTO

東朽網校区は、きれいな水が豊富にあるので農業用水や工業用水に使われているそうです。きれいな水を守るために、山に木を植えたり昭和池の周りの草刈りをしたりしているそうです。

水晶山と昭和池の環境保護



自然環境を守るため、町づくり協議会の方々と一緒に清掃活動や草刈りなどいろいろな活動に取り組んでいるそうです。若い方にも参加してほしいそうです。

水と緑の美化プロジェクトの取組



子どもの頃よりも干潟や川の生き物が減っているそうです。「山の木の葉は海の栄養」なので、生き物が住みやすい豊かな曽根干潟に戻れることを願って、ごみ拾いや草刈りなどの活動に参加しているそうです。

干潟の生き物の生態と環境



「野鳥も人も地球の仲間」を合言葉に、野鳥の観察と保護活動に参加しているそうです。川や干潟の自然環境を守るには木や森を守ることが大切で、木や森を守るには、鳥を守ることが大切だそうです。

野鳥の生態と環境



## 6年生 総合「社会で働くということについて」考えてみよう ～キャリア教育～ 10月

### 未来を担う子どもたちへ・・・どんな希望を抱いていますか？

現代の子どもたちは、テレビやインターネットの環境で育つため情報や流行には敏感ですが、自分で道を切り開いていく原動力となる実体験や生活体験が著しく乏しいといわれています。私たちが生きている社会生活において営まれているすべてのことは、子どもたちにとってかけがえのない経験になり、生きていく知恵や力になるはずですが、多くの大人と触れ合うことにより多様な生き方や価値観に触れ、経験し、感じることで、大人や書籍が1つの答えを下すのではなく、ふれあいや経験や感じたことをもとに子どもたちが自分で考えること。今の学びが社会とつながっていくと知ること。それこそが子どもたちが学ぶ意欲を高め、自ら生きる力を発見していく道しるべになると考えます。そして、その道しるべを私たちは『キャリア教育』と呼んでいます。

【総合情報サイト「キャリア教育」より引用】

TOTO・北九州空港・菓子工房「このとり」の方々に仕事内容や仕事に対する考え方についてお話をいただきました。「相手(お客さん)が喜んでくれること、社会の役に立つ事を一番に考える。夢をもつ。夢を口に出して語ることで、現実には近づいていく。仕事はチームワークが大切。仲間がうれしくなるような言葉をたくさん使って心を温かくしてほしい。」そして、「夢を叶えるのは自分。あきらめるのも、頑張るのも自分のせいにはしないで、自分で決断していかなければならない。」と語っていただきました。

- 北九州空港では、「安心・全運航・定時性・快適なサービス」を心がけていると聞いて、仕事は自分のためでもあり、利用するお客さんのためでもあると思いました。
- 「同じ事(いつもしていること)を繰り返し行うことができることが大切だと知りました。また、チームワークを大切にすると、みんな成長できるし、成長して上手くなるので、効率的に仕事ができるそうです。
- お客さんが喜んでくれる所を見て、やりがいを感じるという素敵な仕事に憧れました。そして、働くことによって、みんなが快適に過ごせる仕事に、私も入ってみたいと思いました。
- 「見えない所だからこそ丁寧に。」ということに意識をもって仕事をしていることを聞いて、私も学校生活の中で、掃除や委員会や係の活動を、見えない所まで一生懸命丁寧にやろうと思いました。
- 働くということは、意見を出し合ったり協力したりして人とのコミュニケーションをとることが大切だということ、一人で考えるよりみんなで考えた方がいろいろなアイデアが浮かび、より良い物を作ることができることと分かりました。
- 働くことは、ただ生活のためだけではなく、人のため(誰かを幸せにする)、地球のために工夫したり、環境に優しくしたりするためだと思いました。
- 働くためには、自分の長所を生かして挑戦する勇気がいります。できないことがあってもあきらめずにやり続ければ夢は叶うと信じて頑張ろうと思いました。そして、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)に力を入れて、働きやすい環境をつくっていきたいです。

